

平成28年6月6日

議会と語る会実施報告書

小諸市議会報告会運営委員長 様

議会と語る会 1班
班長 柏木博美 印

私の班は、下記のとおり議会と語る会を開催しましたので、ご報告します。

記

- 1 開催日時 平成28年5月29日（日） 13時30分～ 15時30分
- 2 開催場所 全地区 小諸市役所
- 3 出席議員 高橋公・早川聖・竹内健一・柏木今朝男・清水喜久男・依田善典・中村憲次・
柏木博美・林稔
- 4 参加人数 13人
- 5 報告内容への質疑・意見・要望・応答 要旨
 - (1) 市政に関すること・・・なし
 - (2) 議会に関すること・・・なし

6 意見交換の内容 要旨

(1) 市政に関すること

項目	・現状 ◆課題	解決策
学校改築	① 改築再編 ・学校改築再編は、いずれやらなければならない。 ・学校はいずれ変わっていく。 ・学校は地域との交流拠点であり、拠り所。 ・災害時の避難場所 ◆改築のための資料やたたき台がない。 ◆学校の配置変更、統廃合は先生の配置も必要となり児童に影響は出ないか ◆保育園から小中まで全体の中で、考えなければならない。 ◆現在の施設は、修繕する箇所や対策が存在する。 ◆学校は子どもの学び場だが、同時に地域でも利用できるものにしてほしい。 ② 生徒数の減少 ・人口減少、児童数の減少はどこの自治体でも抱えている問題で、統廃合はやむを得ない。 ・子どもが少なくなる現実をさみしく感じる。子どもを増やす方策を考えたい。 ・生徒数の減少により、統合した場合通学距離が長くなる。 ・学校によって生徒数がアンバランス ・通学区の変更は、行政区の関係上難しいのでは ◆生徒数を増やす ◆学校ごとの児童数がアンバランス ◆適切な生徒数でないと学力低下につながり対策が必要 ③ 通学 ・通学時間の不平等 ・通学時の安全・防犯が心配 ・近所の子どもが少なく、通学が不安 ・菱野、板沢地区に通学バスがなく不便	① 改築再編 ・現状のままでいくのか、統廃合の場合の想定と試算を示す。 ・通学区を変更することで、学校数を減らさないでほしい。 ・先進地の状況を見る ・組織を作って検討する。 ・新築するときは、地区、住民、職員の意見を入れる。 ・生徒たちのために最優先に考える ② 生徒数の減少 ・通学区の見直しにより、バランスの取れた適正数と学校規模にする ・少人数校は、複合施設にする。保育園。介護施設。地域交流拠点。 ・賛否両論があるので、最大公約数的な判断で決めていくしかない。 ・学校建築の場合の費用等の試算を示す ・子どもを産み安心して育てられるまちなにする ・働き場所、人が住める街、安心して生活できるまちの実現。 ・市営住宅等の建築で、人が外部から入り住みやすい状態とする。 ・行政でしっかり検討し通学区を考える ③ 通学 ・通学児童のいる全ての地域に通学バスの配置

公共交通	【そもそも論】 ・公共交通の充実、必要性を分かり易く ◆要求に応じ、応じられる制度の見直し 【路線に関して】 ・病院の診察に使いづらい ・糠塚園への不便 ・バス停が使いづらい ・予約が面倒 ◆到着時刻の変動が大きい ◆進入路(4m)あるのに玄関まで来てもらえない。 ◆帰り時刻変更する場合不便を感じる 【料金に関して】 ・100 円 ⇒ 300 円 どうして？ ・定時定路線乗り継いで通勤すると片道400 円になる ・東御市より料金が高い ・自分は試乗したことがない ・乗った人の意見がわからない ※ ・車イスが乗れる愛のりくんが無い ◆金沢市のように車イスで乗れるシステムを	・必要性, 目的が明確になれば予算, 人の確保を ・常に利用者の声を聞く体制 ・欲求に沿ったダイヤ、路線を ・定時、定路線の便数を増やして(特に昼頃の便) ・利用者、市民の声を聞く体制をその願いを応える検討をする。 ・すみれ号の復活をする ・1 日のフリーパス ・試乗券（プレゼント）を出す [利用増として] ・便利なら料金が高くても乗る ・観光客も利用できる交通にしていければ
------	--	---

(2) 議会に關すること・・・なし

7 回答保留の質問・意見と回答 要旨（持ち帰って検討しますと回答したもの）

(1) 市政に關すること・・・なし

(2) 議会に關すること・・・なし

8 次回語る会に向けた改善点

(1) 報告会準備について

- ・結果的にはうまくいったが、もっと早く準備を始めてプレゼン資料を早期に確立させたい。
- ・議会として内容を詰める時間が必要。
- ・区長への周知期間が短かった。

(2) 当日の運営について

- ・2班編成での運営は、人数的にもやりやすかった。
- ・事務局の関与も最低限にできたと思う。(事務局に頼りすぎない「かたる会」に)
- ・運営の徹底をする。全議員が同じことができるようにする。
- ・お茶は、場の雰囲気が和んで良かった。
- ・時間が押した場合は、地域課題の意見が出しづらいと感じた。
- ・開始時間を18時30分からにしてはどうか

(3) 議会報告について

- ・昨年との比較では、格段に良くなった。
- ・プレゼン内容は、短くわかりやすかったと思う。
- ・経過報告が簡単すぎた。もう少し時間をとっても良かった。

(4) 意見交換について

- ・2テーマから選ぶ方式も良かった。それでも興味がなさそうな人もいたが。
- ・区の役員さん達は60～70代なので、それに合うテーマがあっても良いかも。
- ・今までのように意見を言いたい人にとっては不満がある。
- ・意見交換テーマが喫緊の課題であったが、継続的に続けていく必要のある内容なので、何年か同じ内容で、進捗状況の報告をしながら進めていっても良いのでは
- ・地域のテーマに合ったものをという意見もあった
- ・テーマの当事者にならない参加者が多かったが、議員が上手に司会進行することで、将来的に当事者になった時にどうあってほしいかの意見を聞くことも必要。
- ・ワークショップのグランドルールはしっかり説明したほうが良い。

(5) 参加者について

- ・どの会場もなぜか適切な参加数であったように思うが、役員さん中心なのは仕方がないが、PTAなどが積極的になってくれると年齢バランスが良くなる。
- ・毎年一定量の参加者をキープするには、やはり声掛けが一番である。
- ・対象者を絞った関係団体と直接話をする場を検討する。
- ・ワークショップ時に反論をしたい時があったが、意見を聞く場として進めるには、現状の説明に留めることとする。

(6) 開催時期・時間について

- ・ 5月開催で良かったと思う。 定着させてしまえば良い。
- ・ 農業従事者には申し訳ない気がするが、農業従事者でも興味を持った人や積極的に声を掛けた人は来てくれた。
- ・ 昼間開催は、参加者が少なかったが、昼間にしか参加できない人の参加であった。
- ・ 全体開催を最初にやるか最後にやるかは検討事項